



杏林大学データサイエンス標準教育プログラム（応用基礎）

取組概要

本学は附属病院を有する総合大学として、医療系をはじめ、文系理系を問わずデータサイエンス関連科目の拡充を進めている。総合政策学部においては、令和4年度の新カリキュラムより、特色のある教育として3つのプログラムが用意されている。その1つがデータデザインプログラム（以降、DDP）である。DDPは、急速に進むデジタル化社会に対応できる人材の養成を目的とし、データの意味を創り出す「データ・デザイン」という考え方にに基づき、データから新しいビジネスを発見し創造する力や、データを用いて課題を解決する力を身につけられる科目構成となっている。この中で、特にデータサイエンスに関連する科目で構成された「杏林大学データサイエンス標準教育プログラム（応用基礎）」（以降、本教育プログラム）を設けており、指定された科目を修得することで、修了認定を受けることができる。本教育プログラムは、「入門」、「応用基礎」、「発展」で構成されており、「入門」と「応用基礎」の科目を必修とし、学生の修学目的に応じて「発展」の科目を選ぶことができる。（https://www.kyorin-u.ac.jp/univ/ds/mdash_ap）。また、本教育プログラムは、DDPに参加していない学生においても、該当科目を修得することにより、修了認定を受けることができる。

対象学部

総合政策学部

修了要件

所定の**認定科目**を全て修得すること。

実施体制 | 杏林大学データサイエンス標準教育プログラム規程

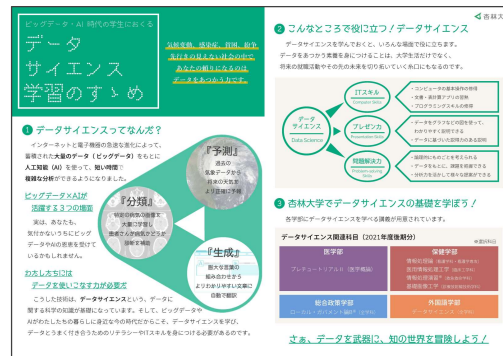


データ・デザイン・プログラム※



学修目標

データの意味を創り出す「データ・デザイン」という考え方にに基づき、①データを適切に解釈する力や②AIを利用した課題解決に繋げるための基礎力を養い、③データから新しいビジネスを発見し創造するための大局的視座を持つことと目標とする。



↑プログラムへの参加を促すリーフレット

☞ 学生のプログラムへのアクセスを支援する資料をガイダンス等で配布

データサイエンス教育委員会

- データサイエンス教育研究センター長（委員長）
- 総合情報センター長
- IR推進室長
- 医学部教務部長
- 保健学部教務部長
- 総合政策学部教務部長
- 外国語学部教務部長
- 医学部事務部長
- 井の頭事務部教務課長
- データサイエンス教育ワーキングメンバー

プログラムの企画・統括・実施

実施後のフィードバック

- 授業後に学生向けの授業アンケートを実施
- 教育指導方法の共有と蓄積
- 学内外のデータサイエンス関連研究の成果を授業に取り込むことで質を高める

自己点検・評価の実施と学内外への公開

- 自己点検結果の大学HPへの公開。外部評価の実施

※DDPは上記の他、ビジネスナレッジ等に関する科目を含め、計36単位以上により構成される（総合政策学部履修案内を参照のこと）。